



北原産業
代表取締役

北原 忠氏

おられます。今回、形状をリニューアルし新色の黒を追加。蓋のリップを減らして中身がより見やすくなり、中皿には4辺にツマミ

は、印刷資料に依存した従来の営業スタイルを脱却し、製品紹介や提案活動をデジタルで行える仕組みを整え、お客様にもインターネット上でいつでも最新の製品情報をご確認いただけるようにしております。営業活動の効率化の観点から、SNS活用の重要性は今後ますます高まると考えております。小売の現場には、

食品関連市場の動きは鈍く、消費は低調な状況が続いております。インフレ傾向は今後も続くと思われるが、さらなる物価上昇を想定して事業を運営していくか悩まなりません。混沌とした社会環境の中ですが、当社はこうした時代においても、顧客に必要とされる製品を着実に開発し続けております。前期も無事に終えることができ、引き続き、引き続き地に足の着いた成長を目指してまいります。

「VCBOX」シリーズを展開しております。長方形・六角形・八角形などの外形・自由な組み合わせで小鉢状の中皿をセットできる仕様

だいております。二段式の弁当容器「KFW」シリーズも好評です。中皿で上下に区切り、上段におかず、下段にごはんを盛りつけられる設計となっております。今回、形状をリニューアルし新色の黒を追加。蓋のリップを減らして中身がより見やすくなり、中皿には4辺にツマミ

日々変化する景況を踏まえ、景気好転の局面を見据えながら、柔軟かつ積極的な新たな挑戦を続けております。こうした取り組みを通じて、より多くのお客様に価値ある製品とサービスをお届けし、信頼にお応えできる企業として着実に歩みを進めてまいります。

先を見据えた事業運営を
市場のニーズに柔軟に対応

食品関連市場の動きは鈍く、消費は低調な状況が続いております。インフレ傾向は今後も続くと思われるが、さらなる物価上昇を想定して事業を運営していくか悩まなりません。混沌とした社会環境の中ですが、当社はこうした時代においても、顧客に必要とされる製品を着実に開発し続けております。前期も無事に終えることができ、引き続き、引き続き地に足の着いた成長を目指してまいります。

部署・各社員が自ら先を予測し、想像力を働かせながら新たな課題を見つけ、先手を打って対処していく姿勢が重要で、受け身ではなく、自ら動くことを意識し、柔軟かつ前向きな企業体質をさらに強化してまいります。製品面では、高級感を演出できる折箱

で、六角形と八角形は2段・3段と積み重ねも可能です。当社が培ってきたプラスチック成形技術を生かした精密設計の中皿が商品の魅力を引き立て、蓋への箔押しなど多彩な表現も可能です。高級料理や菓子用途に最適なシリーズとして、広く評価をいた

を設けて取り出しやすくしました。さらに本体内側には盛り付け目安を追加し、使い勝手を大きく改善いたしました。万能力で利便性が高い弁当容器として、市中の弁当店を中心に好評を得ております。情報発信においては、SNSの活用をさらに強化していま

依然として景気回復の兆候は見えず、先行きは容易ではありません。そのような中、市場のニーズは低コスト商品と高付加価値商品の二極化が進んでおります。当社としては、製品のターゲット層を明確化し、それぞれのニーズに応じた製品づくりを進めたいと考えています。消費が浮上し、景気の活性化へ向かうことを期待しつつ、新製品の開発に注力し、魅力ある製品展開を通じて需要の喚起につなげてまいります。